

## 第4章 町民ニーズ

本町では、第2次総合振興計画を策定するにあたり、平成29年4月に町民2,000人を対象に意向把握アンケートを実施しました。

平成19年と平成24年に実施した同様のアンケート結果と比較した結果は、以下のとおりです。

### 1. 南部町への愛着度

本町に愛着心のある町民が8割以上にのぼり、町民の愛着心は向上していることがわかります。

本町への愛着度についてたずねたところ、「愛着を感じている」と「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた割合は86.1%にのぼります。また、過年度調査結果と比較すると「愛着を感じている」の割合が増加しています。

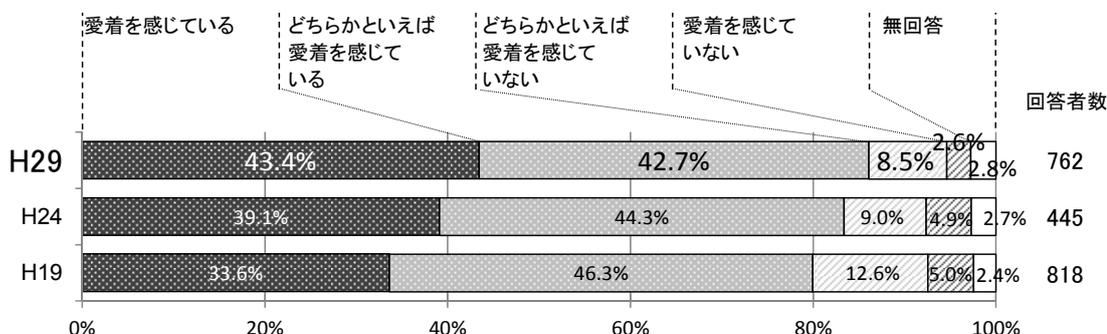


図7 南部町への愛着度

### 2. 今後の定住意向

本町に定住意向のある町民が8割以上にのぼり、町民の定住意向は向上していることがわかります。

今後の定住意向についてたずねたところ、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は87.3%にのぼります。また、過年度調査結果と比較すると「住み続けたい」の割合が増加しています。

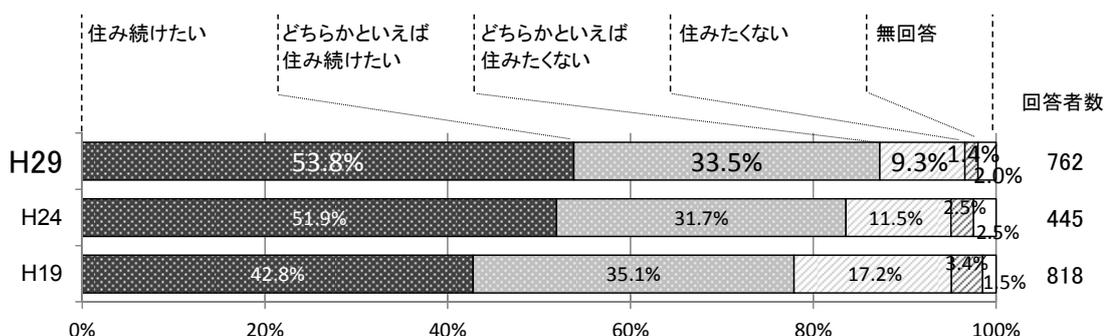


図8 南部町への今後の定住意向

### 3. 取組に対する現状評価

町民の評価で、緊急度・優先度が高いとされる取組の第1位は「雇用・就労対策」、第2位は「商業環境」、第3位は「道路の整備」となっています。

本町の取組を町民がどう評価しているかを把握するため、町の取組（各分野にわたる37項目を設定）について、それぞれの程度満足しているか（満足度）、どの程度重視しているか（重要度）をたずね、その満足度と重要度の相関を示したものが下図です。この結果、「重要度は高いが現状に対する満足度は低い」と評価され、今後重点的な対応が求められている項目の第1位は「雇用・就労対策」となっており、以下「商業環境」、「道路の整備」、「公園・緑地・水辺の整備」、「公共交通機関（バス）」、「障害者福祉サービスや施設整備」があげられ、町民のニーズが高いことがわかります。

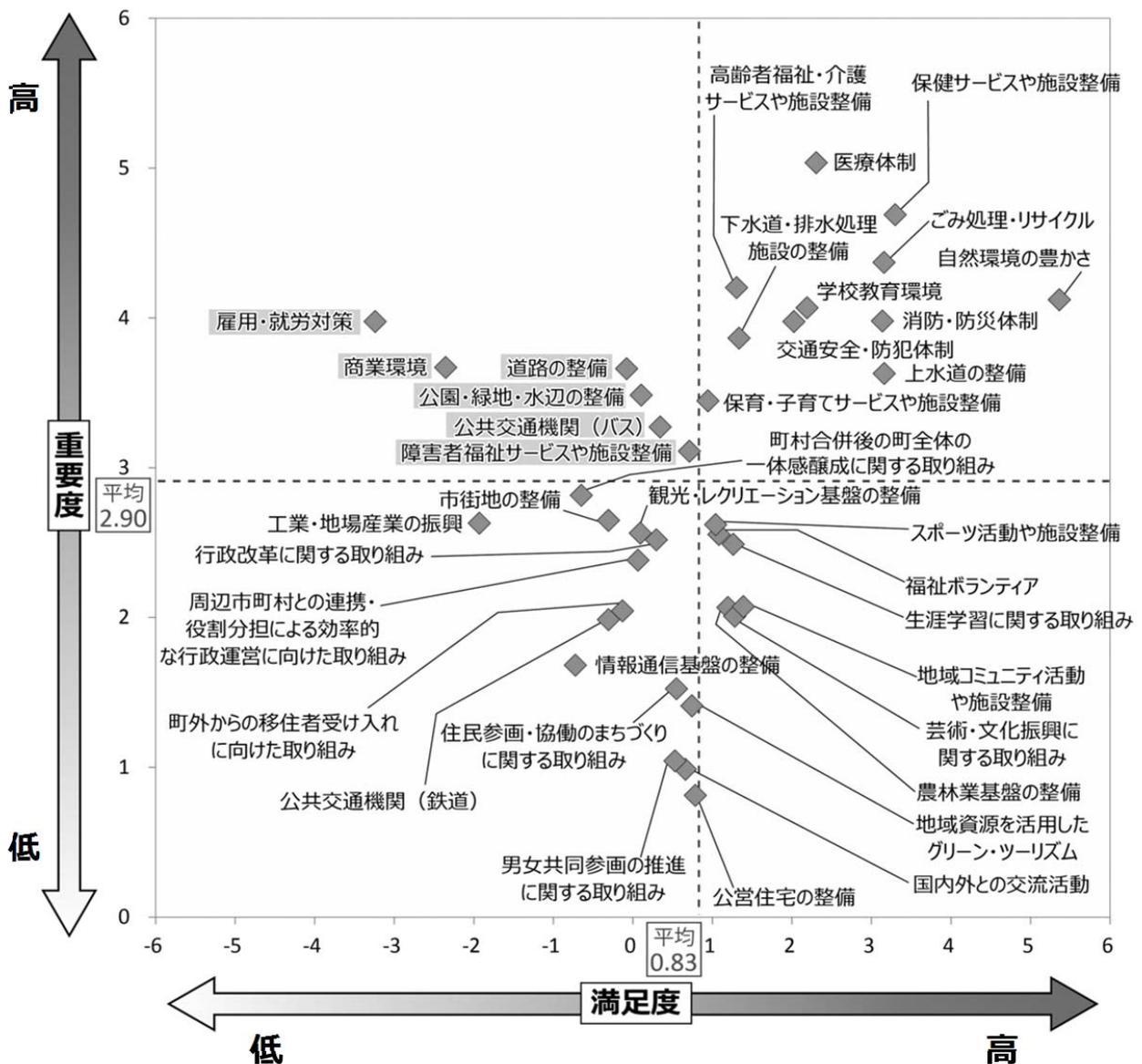


図 9 南部町の取組の評価（満足度と重要度の相関）

## 4. 今後のまちづくりの基本方向

今後の本町のまちづくりの基本方向は、他を大きく引き離して第1位が「健康・福祉のまち」、第2位が「子育て・教育のまち」、第3位が「快適住環境のまち」となっています。

今後のまちづくりの基本方向をたずねたところ、「健康・福祉のまち」（40.4%）が他を引き離して1位となっており、「保健・医療・福祉の充実」を中心としたまちづくりを望む声が多い結果となっています。

次いで「子育て・教育のまち」（25.7%）、「快適住環境のまち」（23.0%）が続き、「子育て支援・教育」や「生活環境の整備」を重視したまちづくりへの関心も高い傾向にあります。

過年度調査結果と比較すると、「健康・福祉のまち」の割合が増加し、「快適住環境のまち」の割合が減少しています。

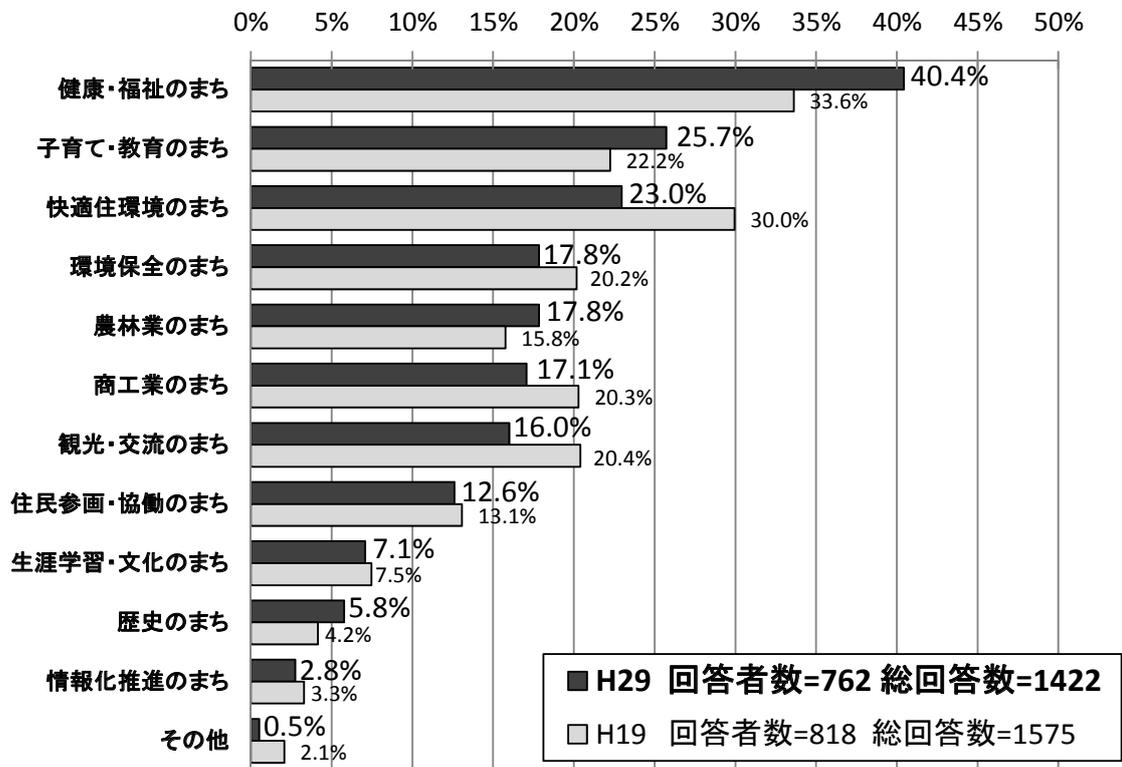


図 10 今後の南部町のまちづくりの基本方向（複数回答）